



横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

横浜ウェーブ



第216号

トピックス

「ラポールの祭典」「オープンデイ 2025」 開催します！



9月28日(日)、横浜ラポールにてラポールの祭典を開催します。当施設からは《きこえない世界をのぞいてみよう!》と題し、デフリンピックや当施設に関するパネルの展示、手話体験など行います。また、特別企画として耳の聞こえない陸上選手が使う「スタートランプ」体験、11月に行われる東京2025デフリンピックの日本代表に選ばれた選手が教える「ビームライフル」射撃体験を行います。

デフリンピックは国際的な「聞こえない・聞こえにくい人のためのオリンピック」で日本初開催。そして100周年を迎える記念すべき大会です。ラポールの祭典では、当施設企画だけでなく、館内各所に応援企画を設けています。新横浜できこえない世界に触れながら、日本代表選手のみなさんを応援してみませんか。



昨年の様子

横浜市総合リハビリテーションセンターでは「オープンデイ2025」が同時開催されます。横浜ラポールも会場に、各施設を自由に見学ができます(一部非公開エリアあり)、医療やリハビリ、福祉に関わる相談や体験ができます。みなさまのお越しをお待ちしています。



事業報告

第1回「聞こえの相談交流サロン」

7月1日(火)、聞こえにくい方やそのご家族対象に「聞こえの相談交流サロン」を実施し、18人の方にご参加いただきました。

「要約筆記や音声認識アプリを使ってみよう」をテーマにそれぞれの違いを説明したあと、どう文字化されるのか、2グループに分かれて体験していただきました。「要約筆記と音声認識の違いが分かった」「場面によって使い分けられるようになりたい」「要約筆記の早さに驚いた」などの感想をいただきました。

今後の交流サロンは、11月4日に「読話体験」、3月6日には「難聴者の体験談」というテーマで実施します。どちらも既にたくさんの方からお申し込みを頂いております。ご不明点などございましたら、お気軽にお問い合わせください。



事業報告

手話通訳者・要約筆記者全体研修会

6月21日(土)、河原雅浩氏((一社)全日本ろうあ連盟副理事長、(一社)神奈川県聴覚障害者連盟理事長)を講師にお迎えし、「聴覚障害児・者をめぐる最新の情勢～通訳者の皆さんに求めること」のテーマでお話いただき、手話通訳者、要約筆記者計148人が出席しました。お話は、ろうあ運動のこれまでの経過の復習から始まり、本研修の直前の国会で可決した、手話施策推進法成立までの舞台裏等、ホットなエピソードもありました。講師は、この施策推進法は「理念法」であるため、具体的施策として各自治体の障害者計画等に反映させる取組みが非常に重要となると強調されました。参加者からは「本法に基づき各自治体の制度がどう変わっていくのか、しっかり見ていきたい」、「未来を担う、聞こえない、聞こえにくい子供たちの、手話で学ぶ権利を守るために(法成立を)急がねば、という強い意志を感じた」等々の感想が寄せられました。

現場を担う私たち通訳者としても、聴覚障害児・者をめぐる情勢を注視し、制度の改善に向け、当事者意識を持って関係団体と共に学び活動していくことの重要性を再認識した研修となりました。

手話通訳者課題別研修

7月26日(土)、標記研修を「市長会見・配信通訳の実践」のテーマで行い、51人が参加しました。(一社)日本手話通訳士協会の高井洋氏に講師をお願いし、テレビ放送やインターネット生配信時の手話通訳の特徴や留意する点などの講義を受けました。

実際の市長定例記者会見の音源を使い代表者2人が模擬通訳を行いました。その後、参加者一人一人も通訳を行い、各グループで振り返りを行いました。主に日本語から手話への翻訳をどう考えるかを話し合い、それぞれ新たな気づきがありました。

講師からは、「時制を意識して表現すること」「簡単な言葉ほど意味が合っているかに注意すること」等のアドバイスをいただきました。参加者からは「今後はより一層、日本語に対する意識を高め、聴覚障害者が内容を捉えることができる手話へと翻訳できるよう技術の向上を図っていきたい」との感想がありました。



横浜市手話通訳者・要約筆記者派遣事業運営委員会

7月23日(水)、令和7年度第1回横浜市手話通訳者・要約筆記者派遣事業運営委員会を開催しました。この運営委員会は、派遣事業の効率的な運営を図るために設置され、年に2回開催しています。

最初に、情提より令和6年度派遣事業の概要報告、横浜市健康福祉局障害自立支援課より区役所への手話通訳設置とタブレット端末を利用した手話通訳利用の報告を行いました。その後、各団体から提出された議題について意見交換を行いました。派遣事業をよりよいものにしていけるよう、日々取り組んでいきます。

横浜市消防職員初任教育「人権啓発研修」講師



8月4日(月)、消防学校初任教育生への人権啓発研修講師として、戸塚区にある横浜市消防訓練センターへ行きました。当日は特別高度救助部隊(SR)の車両もあり、特別な訓練が行われているようでした。

新任の消防職員123人の方に向けて、聴覚障害者に関する理解やコミュニケーションの工夫などの講演と、急病となった聴覚障害者と会ったときどうするかを想定したロールプレイを実施しました。ロールプレイでは新任の方たちに対し、救急や火事の現場で聞こえない人への対応のしかたを経験していただきました。スマホを使った音声認識を使ったり、身振りで伝えるなど伝え方に工夫されていました。

今回の研修で学んでいただいたことを、実際の現場で生かしてくださると嬉しく思います。

参加報告

全国聴覚障害者情報提供施設協議会 2025年度総会・施設大会

6月27日(金)、特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会(以下「全聴情協」)2025年度総会及び大会が、富山県教育文化会館(富山市)で開催されました。当施設からは職員1人が出席しました。

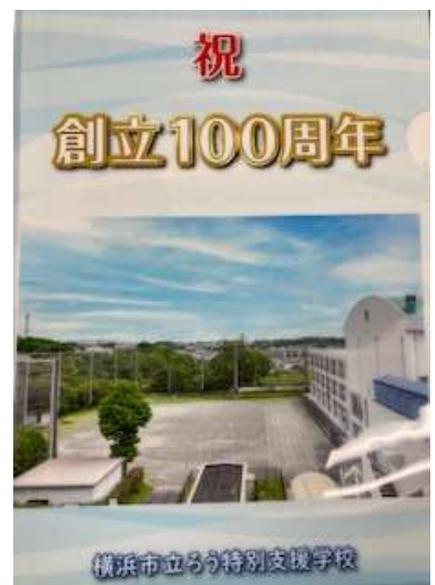
前日には、施設長会議が開催され、各ブロックからの意見などを集約し懸案事項となっていた事務局体制及び全聴情協の方向性と役割についての方針が示され、新体制で2年間かけて進めていくという報告がありました。27日の総会では、活動報告、決算、事業計画、予算、役員体制などすべての議案が採択されました。講演シンポジウムでは、「全聴情協の役割・将来のビジョンと全聴情協に期待すること～中央センター(仮称)と情報ネットワークの構築～」をテーマに厚生労働省、全日本ろうあ連盟、全国手話研修センターそれぞれの役割からの報告と考の発表がありました。提起された課題については、今後も協議を進めていくとのことから、当施設としても考えていく必要があると思われました。来年度は、沖縄県で開催される予定です。

横浜市立ろう特別支援学校創立100周年記念式典

7月12日(土)、横浜市立ろう特別支援学校100周年記念式典が行われ、当施設からも学校運営協議会委員として出席をしました。

横浜市教育委員、保土ヶ谷区長をはじめ、歴代校長先生、PTA・同窓会の方など多くのご来賓と、児童・生徒のみなさん、保護者の方・教職員のみなさんが一堂に会し行われました。式典のオープニングは、卒業生のダンスパフォーマンス、そしてご祝辞や学校の日々の様子がわかるスライドショーなどがあり、記念講演の講師は卒業生の俳優 忍足亜希子さんで、夢を持つことのすばらしさが生徒さん達に伝わったと思います。

厳かで華やかな記念式典に、100年の歴史と多くの方に支えられて現在があることを感じました。



～ 実習生受け入れ報告 ～

7月22日(火)～26日(土)の5日間、国立障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳学科の大瀧 円さんが当施設で実習をしました。大瀧さんから感想をいただきました。

実習では大変お世話になりました。政令指定都市の情報提供施設は限られており、都道府県とは体制や運営に違いがあると思い実習先として希望しました。

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設では、すべての事業がそれぞれ関連し合い、制度利用者の権利保障、通訳者の育成や身分保障、社会への啓発・普及、職員の育成など、現状を学びました。職員の皆様には私のたくさんの質問に丁寧に答えていただき、とても充実した実習となりました。

学んだことを活かして仕事ができるよう、頑張ります。ありがとうございました。

出た!データ!

(7月末までの累計)

■通訳者の派遣・紹介人数

■聴覚障害者の相談

内容	手話通訳	要約筆記	合計	昨年同月	相談事業	実件数	対応数
医療・保健	1,751	48	1,799	1,897	医療	40	88
司法	4	6	10	8	職業	21	63
教育・保育	293	18	311	284	教育	0	0
労働・雇用	154	0	154	186	住宅	19	27
社会生活	321	8	329	423	生活	135	219
自己啓発	111	2	113	96	福祉	82	123
福祉推進	321	310	631	714	法律	8	9
介護保険	590	13	603	714	聞こえ	32	36
他都市	22	0	22	25	合計	337	565
合計	3,567	405	3,972	4,347	昨年同月	263	387
昨年同月	3,864	483	4,347				

■通訳者の現任研修

■映像・字幕制作

手話	回数	8	参加人数	209	自主制作作品数	28
要約筆記	回数	15	参加人数	232		

情報動き

- 7月**
- 1 聞こえの相談交流サロン
 - 3 意思疎通支援担当者会議 (オンライン)
 - 4 出前講座(南区青山学院横浜英和 中学校高等学校)
 - 5 登録手話通訳者1年次研修
 - 8 視聴覚機器点検
 - 9 要約筆記者研修
 - 10 きこえない・きこえにくい社会人のための講座・お仕事個別相談会
 - 12 横浜市立ろう特別支援学校 100周年記念式典出席
 - 13 補聴と聴覚活用サマーフォーラム 参加(ウィリング横浜)
 - 14 登録手話通訳者1年次研修
 - 15 出前講座(泉区シニアクラブ)
 - 22 出前講座(上飯田地域ケアプラザ)
 - 22-26 国立障害者リハビリテーションセンター学院実習生受け入れ
 - 23 派遣事業運営委員会
 - 26 手話通訳者課題別研修
 - 30-8/1 全聴情協意思疎通支援事業 担当者研修会参加(愛知県)
- 8月**
- 1 全聴情協第三ブロック会議参加 (千葉県)
 - 2 手話通訳者全体研修
 - 4 消防局人権研修講師派遣 (横浜市消防訓練センター)
 - 4 登録手話通訳者1年次研修
 - 9 横浜市聴覚障害者協会 デフリンピック周知イベント
 - 12 視聴覚機器点検
 - 20 出前講座(金沢区 サニーライフ金沢八景)
 - 24 きこえない・きこえにくい社会人のための講座①
 - 25 登録手話通訳者2年次研修
 - 25 横浜市聴覚障害者協会中高生のための夏休み手話教室講師派遣
 - 29 関東ろうあ者相談員連絡会参加 (東京都)
 - 31 区役所遠隔手話通訳にかかる研修・意見交換会

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェブ》

発行日:令和7年8月31日

発行者:(社福)横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752 TEL.045-475-2057 FAX.045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>